

五条山病院  
パンフレット



医療法人財団  
北林厚生会 五条山病院

〒630-8044 奈良県奈良市六条西4-8-3  
TEL: 0742-44-1811 (代表) FAX: 0742-47-5766  
E-Mail: gojoushima@kcn.ne.jp

「思いやり」  
おしみなく……  
心の安らぎと  
癒しのために。



人と人が  
つながり合う  
優しさ溢れるふるさと…  
心のバリアフリーを  
願って

私たちの古刹が伝統を受け継ぎながら  
つねに新しい時代の息吹を

吸収してきたように、

〈こじょう山〉は創設以来の理念である

「思いやりの医療」を貫きながら、

たえず新しい精神科医療を

求め続けてきました。

その蓄えの一つとして、私どもは

心地よいアメニティと、安らぎの空間を

実現した「北・南病棟」を

患者さまに提供することができました。

同時に心療の方々を地域全体で支える

システムづくりも、作業所との連携、

グループホーム、社会復帰施設の開設など

様々な展望が見えてきました。

今後も私ども〈こじょう山〉は、

新しい医療と福祉の創造に取り組み、

患者さまの社会復帰を支えてまいります。



光が注ぎ、風が吹き抜ける、心と体を癒す開かれた環境のなかで

1/個室 2/4床室 3/北・南病棟のダイニング。大きなガラス窓を配した暖かい雰囲気の中、くつろぎの場所です 4/土曜日をイメージした病棟外壁と散策のできる木の遊歩道 5/清潔な観察室

病室の窓を開けると  
 風がカーテンを揺らし、爽やかな空気が  
 廊下を吹き抜けていくような北・南病棟、  
 プライバシーを尊重した  
 明るく広い空間の病室をはじめ、  
 浴室やトイレにまで使いやすさ、  
 生活のしやすさへの心配りがあります。  
 同病棟の病棟に囲まれた中庭は、  
 散策をする人、スポーツを楽しむ人など  
 さまざまな人との交流の広場となっています。  
 自然に触れ、四季の移ろいが  
 感じられる遊歩道環境と  
 ゆるやかに流れる時間が  
 心と体を癒し、  
 早期回復への糧となっていくきます。



四季の移ろいの中で  
 園芸を楽しみながら  
 自然に触れることも  
 癒しに繋がります。



思わず満足で歩きたく  
 なる自然感あふれる  
 北・南病棟の中庭。  
 約40坪の広さのゆとり  
 がある木製デッキでの  
 散らばりが心を和ら  
 げてくれます。



# 回復へ向け た確かな医療、きめ細かなケア、安心そして信頼感



精神保健福祉士はじめ作業療法士、薬剤師、臨床心理士などのコ・メディカルがパートナーとして患者さまと深く関わり回復の支えとなります。



臨床心理士による絵画セラピー。心理テストのほかカウンセリング、グループセラピーなどを行い患者さまが抱える問題解決のサポートをします。



作業療法、レザークラフトの時間。精神疾患によって低下しがちな作業能力、生活技術の改善をめざすリハビリテーションです。

胸ふさぐ絶望感や苦悩、そして焦り……心の嵐が突然寄せ来るときに断えを開き、受け入れてくれる対象があるだけで、どんなに心安らぐが知れません。心の病は、選んだ薬物療法とさまざまなりハビリテーションによってコントロール可能な病気となりました。(こじょう山)では専門スタッフが患者さまのパートナーとして、またご家族の一員のもりでもあり、回復への道のりをともに歩んでいます。



ナースステーション。広く動きやすい職場環境を背景に、患者さま一人一人に手厚いケアを行っています。



1/外来診療風景 2/医療福祉相談。相談員が退院後の生活や福祉サービスの利用などについて相談を承ります 3/クリティカルパス風景。医師、看護者はじめコ・メディカルスタッフが早期回復をめざし治療方針について話し合います 4・5/SST(生活技能訓練)場面。社会適応訓練として効果的な治療法の一つです

笑顔さわやかに…… 自立をめざすデイケアセンターの仲間たち



デイケアセンターのウッドテラスで思い思いの時間を過ごすメンバーの皆さん。

温もりあるネットワーク、地域に生い繁るその日まで。

患者さま主体のアメニティと機能性を実現した「北・南病棟」とともに、私ども（ごじょう山）は21世紀の新しい精神科医療へ向けたスタートラインにつきました。私どもはすでに精神科デイケア、精神科訪問看護、グループホーム、ご家族に病状とケアの理解を深めていただく「家族教室」、試着支援、地元の小規模事業者との連携など、障害者の方々が地域社会で暮らしていくためのシステムづくりに力を注いできました。

そして今、私どもは21世紀の新しい使命として精神障害者社会復帰施設の建設に積極的に取り組んでまいります。この社会復帰施設には住むための施設（生活訓練施設、福祉ホーム）、作業訓練のための施設（授産施設）、日常生活の支援・相談のための施設（地域生活支援センター）などがありますが、（ごじょう山）では「生活訓練施設」と「地域生活支援センター」の開設を先はじめに、障害者の皆さまの社会復帰をさらに力強く支えていきます。もちろんグループホームの開設も引き続き地域に増やしていきます。

私どもは今後もこうした新しい精神科医療のサービス提供の主体となる職員の教育には格別の努力を傾け、理念である「思いやりの医療」を確実に実践してまいります。

通院費、自立へ向けた地域での生活を支えてくれる頼れる既製サービス、それが精神科デイケアです。（ごじょう山）のデイケアセンターは生活リズムを身につけたい人、対人関係の自信をつけたい人など、年齢を問わず多くのメンバーで毎日、朝早くから活動しています。きつと見つかります。心落ちる場所、励まし合える仲間。そして新しい自分自身、デイケアがあるから明日が楽しみ……そんな期待にスタッフ全員で応えます。



デイケア、音楽療法の時間。ほかに読書グループ、農園・園芸グループ、壁新聞グループ、スポーツ、治療教室など多彩なプログラムがあります。



デイケア、料理実習の時間。単身生活を送る上で自炊は大切な生活技術の一つだけに人気のプログラムです。



デイケア、卓球の時間。当センターはご自宅、社会復帰施設、グループホームなどさまざまな形で地域に暮らす人の受け皿になっています。



デイケアセンターの外観。自立へ向けて多くの仲間が集います。



グループホーム、製菓室でのひととき。入居者が共同生活を送り、自立生活の実現に励んでいます。入居者にはデイケアや地域の作業所に通う人が多くいます。



みなおきな自立への道のり、  
人としての誇りある暮らしを変えて

精神科医療の進歩的な医療は、単に療養の回復だけでなく、心を  
豊かにする社会に還元して、一人の生活者として地域に溶け込んで暮  
らしていけるよう、その社会復帰をサポートしていくことにあります。  
そのためには質の高い医療サービスのほか、社会や作業環境の場  
の改善など精神科医療の方が生活支援を確保するうえで欠かせない  
基本的な生活の支えとなる福祉サービス。そして回復期や再発防止  
などが進む療養サービスという、医療・福祉・福祉の三位一体と  
なった支援が不可欠です。「にじよう山」は精神科医療の方がつな  
ぎその三つのサービスを十分に享受でき、従来に社会参加と社会的  
自立への道を歩んでいただけるよう、質（か）としての役割を  
果たしてまいります。



五条山病院  
リーフレット





## 「思いやり」の心で 社会復帰のお手伝いをします。

21世紀にこそふさわしい開かれた質の高い精神科医療を求めて……<ごじょう山>は患者さま主体のアメニティと安らぎに満ちた「新病棟」としてその答えを出しました。病棟の間々まで陽光が降り注ぎ、爽やかな風が吹き抜けるような広く明るい病室やデイルーム、そして誰もが自由に行き来できる軽やかな中庭……心と体を癒し、落ち着いて社会復帰に備えていただくための環境です。当院のモットーは「思いやりの医療」。職員一同、思いやりの心で患者さまの社会復帰のお手伝いをします。



- 交通のご案内**
- 近鉄奈良駅前・JR奈良駅前より奈良交通バス「六条山行」で終点下車。(所要時間約30分)
  - 近鉄橿原線西ノ京駅より奈良交通バス「六条山行」で終点下車。(所要時間約5分)



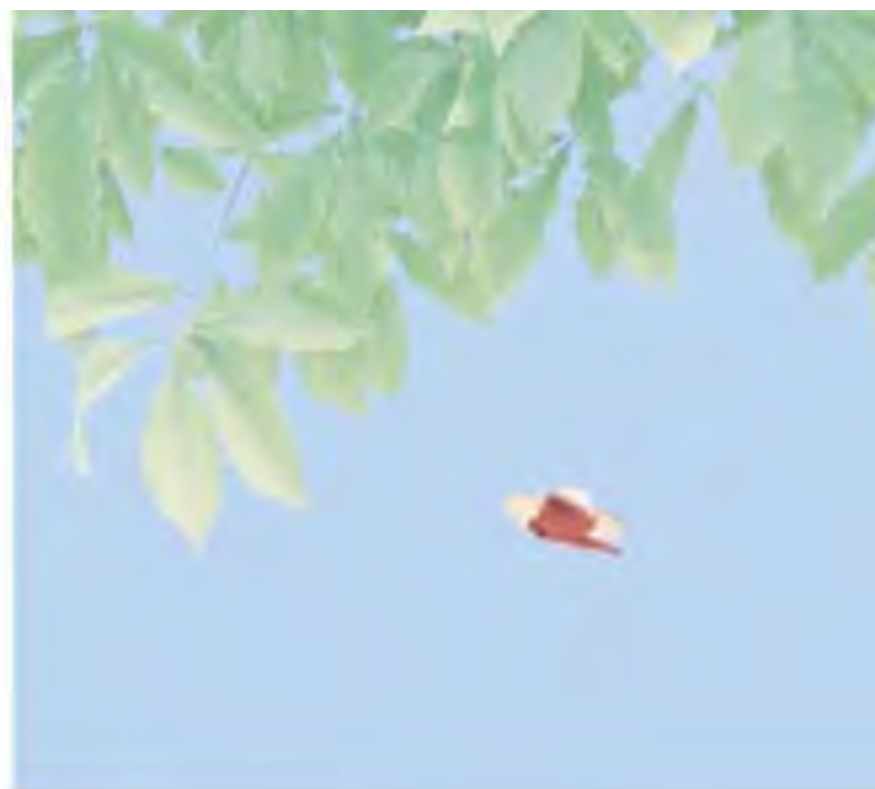
医療法人財団 北林厚生会

### 五条山病院

〒630-8044 奈良市六条西4-6-3

TEL0742-44-1811 FAX0742-47-5766

E-Mail: gojocuyama@kcn.ne.jp



## 診療・入院のご案内



## 「思いやり」を理念に、確かな医療と福祉で社会復帰をサポートします。

### ■外来診療

●診療科目 精神科・心療内科・内科

### ●診療時間

月曜～土曜……午前9:30～12:00

### ●受付時間

月曜～土曜……午前9:00～11:30

●休診日 日曜日、祭日

\* ただし救急および時間外受付は随時行います。

### より良い治療のために

患者さまにとって、入院治療に対する不安は計り知れないものがあります。その不安を支え、励ますご家族の協力は治療のうえでも大切なものです。そのうえで職員一同ケアに全力を注ぎ、一日も早い回復を実現したいと願っています。入院に際しては若干の手続き・準備が必要ですが、詳しくは別途「入院のしおり」をご用意しましたのでご覧ください。また当院ではご家族の方へ病気への理解を深めていただくために、定期的に「家族教室」を開催しています。ふるってご参加ください。

### ■入院にあたって

入院の手続きに必要なもの

- 健康保険証、その他医療証
- 印鑑(ご本人と保護者のもの)
- 日用品費預り金

### ■入院費用について

- 締め日=毎月末に締めます。
- お支払い=翌月の10日から20日までの間に、会計窓口へお支払いください。



### ■入院生活について

入退院のご用意いただくもの

洗面用具、衣類、日用品、はきものなど  
※詳しくは「入院のしおり」をご覧ください。

■電話・通信について

入院中の電話は、病棟・ホールに設置されている公衆電話をご利用ください。手紙やはがきの通信は自由です。

■面会・お見舞いについて

患者さまのためにもなるべく足をお運びください。

面会時間=午前10:00～午後4:00

■外出・外泊

外出・外泊は治療の一環として積極的に行っています。主治医の許可が必要ですが、お気軽にご相談ください。

外出時間=午前10:00～午後4:00

### ■精神科デイケア

退院後すぐに職場や学校に復帰するのが難しい方や通院治療中に社会復帰のリハビリテーションが必要な方が、昼間、当院のデイケアセンターに通い、さまざまなプログラム活動に参加しながら社会的自立をめざすものです。外来医療の一環として開催しています。

●開催日

月曜日～土曜日

●開催時間

午前9:30～午後3:30

※参加ご希望の方は主治医にご相談ください。

### ■グループホーム

回復途上の精神障害者の方々が地域で共同生活を営み、スタッフから食事、金銭管理等日常生活上の指導、助言を受けながら自立生活に備えるための共同住居です。当法人ではマンションや戸建住宅を借り上げ、地域での自立をめざす方々が低額料金で入居できる住まいとして提供しています。

### ■社会復帰施設

精神障害者の方の自立を助けるための社会復帰施設として「住むための施設」「働く場としての施設」「相談のための施設」など多くの施設があります。当法人では居住施設として「生活訓練施設—思い出」と、地域で暮らす障害者の方がいつでも生活上の相談ができる「地域生活支援センター—夢」の開設を手始めに社会復帰施設の建設を進め、障害者の方々が安心して自立へ向けた生活ができるシステムづくりに力を注いでいます。

### ■医療福祉相談室

心の病の不安や悩み、入退院の手続き、そして退院後の自立生活の支援や地域の社会資源の利用など、お一人お一人にふさわしい社会生活を見出すためのお手伝いをします。国家資格を持つ精神保健福祉士をはじめ専門教育を受けた精神科ソーシャルワーカーが常時ご相談を承ります。





仲間がいる、  
信頼できるスタッフがいる。  
デイケアで新しい可能性に  
チャレンジを!

退院して家にいるけれど一日の過ごし方が分からない……  
復学・復職をしたいけれど自信がない……  
なかなか病気に對する不安が消えない……  
デイケアは、そんな悩みを持つ人が自立生活へ向けて少しづつ体験を重ね、学び、自信をつけていく場です。  
あくまで楽しみながら、多彩な活動プログラムに参加することが、自立への助けとなります。  
新しい自分の可能性へのチャレンジ……  
デイケアにぜひ参加してみませんか。



- 交通のご案内
- 近鉄奈良駅前・JR奈良駅前より奈良交通バス「六条山行」で終点下車。(所要時間約30分)
  - 近鉄橿原線西ノ京駅より奈良交通バス「六条山行」で終点下車。(所要時間約5分)



医療法人財団 北林厚生会

**五条山病院**

〒630-8044 奈良市六条西4-6-3

TEL0742-44-1811 FAX0742-47-5766

E-Mail: gojuyama@kon.ne.jp



GOJOUYAMA  
精神科デイケアセンターのご案内  
DAY-CARE  
CENTER

医療法人財団 北林厚生会

**五条山病院**  
デイケアセンター



学び、通され、体験する場として、自立生活へ向けて。



<デイケアとは……>

社会的自立へ向けたリハビリテーション

退院後すぐに学校や職場などへの社会参加が難しい場合や、通院治療中に社会復帰へのリハビリテーションが必要な場合に、その人が平日の昼の間、デイケア施設へ通いさまざまな活動プログラムに参加して自立生活や社会参加に備えるものです。病状を安定化させ、再発を防止するうえでも有効です。活動は医師の指導・監督のもと看護師（士）、作業療法士、精神科ソーシャルワーカーなど精神科医療の専門スタッフによって行われるもので、通院医療の一つとして位置づけられています。

プログラムの内容は……>

スポーツから音楽、料理まで楽しいプログラムを第一に

グループ活動を中心に、料理、皮細工などの創作活動、コーラスや楽新聞、ビデオ観賞などの芸術活動、その他スポーツやストレッチ体操など多彩なプログラムを行っています。また「治療教室」では病気や薬のことを学び、再発防止に役立てています。個別指導・援助を行い、個々のニーズに応じたプログラム参加を促しています。プログラムの講師には地域のボランティアのご協力もいただき、メンバーの興味のある楽しい内容を心掛けています。

<こんな人が利用しています>

- 退院後の生活リズムを身につけたい人。
- あいさつやコミュニケーション、人づきあいの基本を身につけたい人。
- 通学や仕事のために体力、協調性、持続性を養いたい人。
- 病気の不安や生活上の悩みの相談相手がほしい人。
- 落ち着いた場のほしい人。

■時間・開催日

時間 午前9:30～午後3:30 ※午前9:00から開館しています。

開催日 月、火、水、木、金、土の週6日。

■用意するもの

プログラムに応じて運動着、運動靴、コップ、エプロンなどをご用意ください。

■出席・食事

デイケアで食事を申し込まれる場合は10:00までです。遅刻される場合は10:00までに電話連絡をお願いします。

■診察

診察は主治医の外診の日に行われますが、外診で順番を取る必要はありません。デイケアセンターで申し込んでください。

■費用

各種保険のほか、通院医療費公費負担制度や、助成制度の適用が可能です。スタッフにご相談ください。

■会計

週に1度、会計窓口で前週分についてお支払いください。差代は、お受け取りの際、調剤薬局で精算をしてください。

■ご家族の皆さまへ

メンバーのデイケア活動への参加を促し、活動をより有意義なものにするためにはご家族の理解・協力が大切です。お薬に気づいてスタッフとの連絡を取り合ってください。ご家族からの相談、デイケアの是非などお気軽にお申し付けください。また、毎月日曜日の「利用者・家族の集い」を開催し、デイケア活動の紹介と交流を行っています。ぜひご参加ください。